

県内の遺跡・遺物22

おおつか おんなづか こふん  
**大塚(女塚)古墳** (昭和27年県指定)

所在地：南魚沼郡六日町大字余川字飯綱山

大塚古墳は県内で最初に県指定史跡となった物件で、これを含む飯綱山古墳群は、昭和47年に改めて県指定史跡になっています。

飯綱山古墳群は県境に源を発する魚野川の左岸、標高235mの丘陵上に営まれた古墳時代後期の群集墳です。1997年の新潟県教育委員会の調査結果では65基の存在が確認されており、近接する蟻子山古墳群とあわせて魚沼地方最大の古墳群を形成しています。この大塚古墳は、飯綱山古墳群中最大の円墳で、直径40m、高さ約6m、二段築成で、まわりに3m余り、深さ2mの周壕があります。

明治21年の発掘記録から、墳頂部に東西二室をもつ幅1.8m、長さ2.4mの竪穴式の石室であったことがわかりました。この際、大腿骨の一部と思われる人骨の一部のほか、副葬品として短甲・仿製鏡・鉄銚・直刀・鉄鏃・勾玉・管玉・環鈴・小玉などが出土しました。また墳丘の南側より馬具および馬鐸も発見されました。5世紀前半から後半にかけての古墳と推定されています。

本県内の最大級の古墳で、保存状態もよく、資料も豊富であるなど、魚沼地方の古墳文化を知るうえできわめて重要なものです。現在も平成7年度から、新潟大学考古学研究室によって27号墳(男塚)65号墳などの調査が行われています。



大塚(女塚)古墳の現状(1998年8月)

**e-Mailのアドレスをお知らせください**

5月にホームページが開設されたことに伴い、埋文センターでもインターネット上でe-Mailの送受信が可能になりました。これを利用して、今後少しずつ現地説明会や発掘調査報告会などの情報をお知らせしたいと考えています。メールアドレスをお持ちで、埋文センターからの配信を希望される方は、氏名または機関名とメールアドレスをお知らせ下さい。宛先は[maibun@coral.ocn.ne.jp](mailto:maibun@coral.ocn.ne.jp)です。

**埋文にいがた No.24**

発行(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団  
 〒956-0845 新津市金津93番地1  
 TEL (0250) 25-3981  
 FAX (0250) 25-3986

印刷(株)文久堂